

014577-000-4

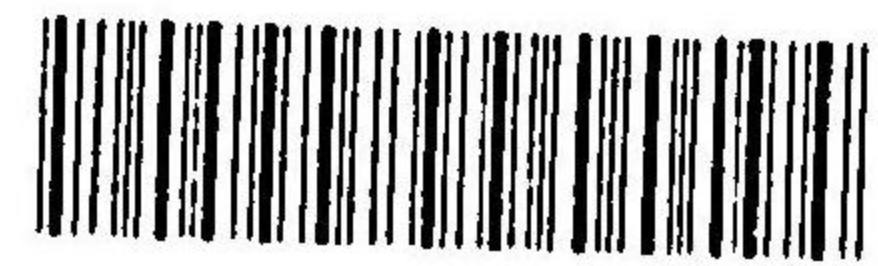
特15-627

〔神籬教院決議案〕

大原 美能理／編

M27

ABB-0992



大阪京都兩所ノ會議ニ於テ決議スル處各些少ノ異動
有之モ必竟大同小異ニ付更ニ委員ヲ置キ之ヲ修正シ
議案終結候間此段報告候也

神籬教院教長

權大教正 大原 美能理



○第壹號決議案

神道本局神殿建築大意

明治八年五月神佛合作布教ヲ廢止セラレ大教院鎮座四柱皇大神ヲ神
道本局へ遷座シ奉リ尋テ神殿ヲ新築ス此際特旨ヲ以テ
陛下ヨリ下賜金アラセラレ官國幣府縣鄉村社神官并ニ專補教導職ニ

令シ各募集スル寄附金ヲ以テ築造ノ盛舉ヲ行フタリ然ルニ明治十四年ノ末祭神論ノ結果ニヨリ恐クモ昇神シ奉リ神殿ハ單ニ賢所遙拜殿ト爲ス翌十五年ニ至リ神道十教派ニ分立シ遙拜神殿ハ神宮教ニ渡シ該教ノ祠宇トス如斯變遷ノ困難ニ遭遇シ右大教院ヨリ選座シ奉ル靈璽ハ神道本局ノ藏庫ニ納メ今ニ奉護シ奉ルモノハ時勢ノ變遷世運ノ來タス處ト雖モ亦人爲ノ盡サザル處ニシテ神明ニ對シ實ニ恐縮ノ至リナリ爰ニ於テ神道本局ハ時機ヲ量リ全國部下ニ合シテ明治廿四年五月大會議ヲ開ク參會スル議員ハ神殿建築目論見豫算案ヲ可決ス爾來三ヶ年ヲ經由スルモ種々ノ事故ニヨリ實施着手スルニ至ラズ客年十二月神道本局ハ該件審議諮問會ヲ開ク廿四年ノ決議ヲ以テ更ニ建築方法ヲ議決セリ我神道本局ハ神殿ヲ置カザルベカラザルノ理由前記略述スルノ由緒ニシテ實ニ忽諸スベカラザルモノナレバ教導職ヲ負擔スル責任者ハ自任擔當セザルベカラザル處也神殿築造ノ大意ヲ述ル斯ノ如シ

一本局神殿建築事業ハ本年四月ヨリ着手シ先ツ建築事務所ヲ置キ總裁以下ノ役員ヲ置キ向廿四ヶ月間ニ終結スルノ目的トス其金額ハ

概算金八萬七千九百〇五圓餘トス此寄附ノ募集ハ有志ノ適宜ニ任スト雖モ教導職教徒信徒ハ重キ責任ヲ有スル義務者タルヲ以テ各地方一教會又ハ分支教會ニ於テ豫約ヲ設ケ各自率先シ寄附金募集ノ責任ヲ盡スベシ

一信徒外廣ク有志ヲ募集スル者ハ特別募集員トシ金高拾圓以上ニ對シ十分ノ四ヲ實費トシテ下附ス

但シ此募集員ハ地方ニ於テ之ヲ撰擢シ教會所長又ハ協議所長保證シ本院ヲ經由シテ建築事務所ノ承諾ヲ得テ施行セシム

一教會其信徒内ノ有志ヲ募集スルモノハ責任ノ本分ナリ然レモ情狀ヲ酌量シ拾圓以上ニ對シテハ十分ノ二以内ヲ實費トシテ下附スル

一アリ

但シ此場合ニ於テモ情實ヲ具申シ本院ヲ經テ建築事務所ノ承諾ヲ得ルモノトス

一教會其信徒内ヨリ募集スル金員取極メ方ハ地方教會所長又ハ協議所長ノ擔任トス其金員人名等ヲ明記シ其取扱主任者并ニ教會所長又ハ協議所長以下述署証明シ本院ヲ經由シ建築事務所へ送納スベ

右寄附募集ハ建築事務所ヨリ發令スル月ヨリ實施着手スヘシ且寄附者ニ對シ金高ニ應ジ對遇方法并ニ有志ノ芳名ヲ保存スル紀念方法等總テ建築事務所ノ定ムル處ニ隨ヒ懇切ニ説キ一ツノ疑念ナカラシメ寄附者ニ満足ヲ與フヘキ事

○第貳號決議案

內務省訓令 明治廿六年二月七日 第一號達ニ付自今左ノ通り區分シ期日ニ届出ベシ若等開ニ附スル者ハ教規ニヨリ懲戒處分シ之ニ對スル費用ヲ辨償セシムル事アルベシ

- 一 教會所教務所說教所協議所等地坪建坪并ニ所有權者ノ變換
- 一 說教演說冠婚葬祭ヲ取扱タル員數并ニ巡回度數派出國郡村名其派出人名
- 一 教導職教徒信徒ノ増減并ニ講社ノ情况

一 教內生徒教育方法并ニ生徒現在員數卒業生徒員數教授人員之ニ關スル情况

但シ三大事傳受ノ者ヲ教徒ト云ナリ

一 教導職一己人ニテ前記施行セシ者ハ其都度其分轄教會所へ届出ベシ又分轄教會所アラザル向ハ直ニ本院ニ届出ベシ
右毎年六月十二月廿日限リ明細取調届出ベシ

○第三號決議案

時勢ノ進歩ニ隨ヒ布教ノ進路ヲ改良シ專ラ國躰上ニ注目シ禮教ヲ正シ神徳ヲ發揚シ人心ヲ感化セシメ上下内外ニ耻ザル惟神ノ太教ヲ擴張スルノ責任ヲ盡スベシ附テハ神道本局ノ教規ヲ實踐シ本局ノ方針ト共同シ神籬ノ教旨ヲ貫徹シ猶且ツ普通教會ニアル者ハ其規約方向ニ違背セズ始終一徹シ同職一躰ニ布教スルヲ要ス若シ然ラザルニ於テハ國家有爲ノ信徒ヲ結成スル能ハザルナリ實ニ切迫多端ノ時運ナレハ各自努力シ進取ノ目途ヲ立テ來ル四月廿五日迄ニ届出ベシ

但シ地方教會所又ハ協議所ニ於テ部下取極メ差出ヘシ又教會所協
議所アラザル向ハ直ニ本院ニ届出ヘシ

○第四號決議案

神道敎導職タル者ハ政黨ニ關係シ政社ニ加盟シ太政ニ容喙シ議員撰
舉ニ干涉スル等ノ義ハ偏頗ノ行爲ニシテ大ニ天下ノ信仰ヲ害スルヲ
以テ決シテ右等ノ所爲アルヘカラス各結成スル信徒ヲ敬神愛國
ノ志士ヲ養成シ其結成スル信徒團躰中ヨリ盡忠ノ士ヲ撰出セシムル
様常ニ恒ニ布教擔當スヘシ

○第五號決議案

一神道本局部下各教會ハ三條敎憲ヲ奉シ其原一ナレハ和而不同ノ義
失フヘカラス各布教手段ニ於テ些少異ナキニアラズト雖モ等シク

神道敎規ヲ遵守スル一管内同僚ノ者ト云ヘシ然レハ信誼ヲ厚クシ
益聖化翼賛ノ道ヲ講スベシ敎義上知ラザルヘカラザル者ハ相通知
響應シ全部下一般ヲ以テ一團躰教會ト見做シ匪敎徒ノ聲隙ニ乘ス
ベキニ無ラシムヘシ依テ凌軋シテ妨礙ヲナス等ノ行爲決シテアル
ヘカラズ若シ他ヨリ凌軋シ妨礙ヲ與フル者アル時ハ其事實ト人名
ヲ詳細明記シテ三名以上ノ連署ヲ以テ申出ベシ決シテ相對スル所
爲アルヘカラズ若シコレニ背ク者ハ理非ニ拘ラズ處分ヲナスヘシ

右決議候也

二府十三縣出席議員

若生良亮	丹上能布
山野治郎松	澤田吉松
深田平三郎	大山久雄
井上喜平	伊川一七
森田楠太郎	林佐平

小笠原安万侶	杉原勇喜
平井茂登	山西宗十郎
福永松右衛門	八橋幾三郎
宮地多可	廣本寅吉
田中清逸郎	山本覺
弘岡傳	山崎才吉
田村文逸	久保田彌三
笹尾幸雄	藤田稔
大久保賢次	梶原速
堀内慶次郎	村尾友七
白井憲雄	矢持大藏
飛彈藤吉	
修正委員	白井憲雄
伊川一七	村尾友七
山野治郎松	

議場費募集

大阪京都兩所議場合併費目
郵便稅筆紙墨諸雇給油蠟燭炭之類席料部印刷費
一金三十拾貳圓貳拾錢
總計 高

金 五 圓

教院傳達所ヨリ支出

差引殘金貳拾七圓貳拾錢

此金人員四百人ニ割附スルニ一人ニ付金六錢八厘ツ、
此割附金ハ地方教會所又ハ協議所等ニテ取纏メ來ル二月五日限
リ送納スヘシ教會所又ハ協議所ニ依ラザル者ハ直ニ送納スヘシ
理由所屬人員元簿六百五十八人也内貳百五十八人轉籍住所不分明又
ハ官途ニ就キ或ハ家事ノ都合ニヨリ休職又死亡無届モアリ又長崎縣
青森縣東京府鹿兒島縣等遠隔ノ地ニ二三人士、各所ニ散在ノ向ハ會
議モ通知セズ猶往復郵稅ノ無益ナルヲ以テ之ヲ除キ差引現員ヲ四百
人ト假定セシモノ也

調 査 委 員

山 野 治 郎 松
 白 井 憲 雄
 伊 川 一 七
 井 上 喜 平

客年十二月神道本局諮問會東上費

一金六拾圓也

往復旅費滞在費共

但本院教長并總代議員都合二名

割賦左二

一金五圓	神籬分教會大阪本部	一金五圓	全教會松島支教會所
一金貳圓	全分教會三宅本部	一金貳圓	全教務津山本部
一金貳圓	全教會田山支教會所	一金貳圓	全伊丹支教會所
一金貳圓	全洲本教務扱所	一金貳圓	全養父教務扱所
一金貳圓	全紀州教務扱所	一金貳圓	全附屬道通教會本部
一金貳圓	全恭敬教會本部	一金貳圓	全赤心教會本部

一金貳圓	全庚申教會本部	一金貳圓	全名和教會本部
一金貳圓	全船岡教會本部	一金貳圓	全受持教會本部
一金貳圓	全葛葉教會本部	一金貳圓	全產湯教會本部
一金貳圓	全齋庭教會本部	一金貳圓	全豐川教會本部
一金貳圓	全敬忠教會本部	一金貳圓	全教會永守講社事務所
一金壹圓	全分教會京都本部	一金壹圓	全教會系原支教會所
一金壹圓	全陶器支教會所	一金壹圓	全東京事務扱所
一金壹圓	全附屬日月教會本部	一金壹圓	全教會八代講會所
一金壹圓	全水上教務扱所	一金壹圓	全小濱教務扱所
一金五拾錢	全分教會備中本部	一金五拾錢	全岡山山本部
一金五拾錢	全津本部		

右送納濟ノ分ハ受取朱印ヲ捺ス依テ未納ノ向ハ二月五日迄ニ送金相成度候也

報 告

本院教長大原教正年來ノ功績ニヨリ
 管長閣下ヨリ特別御賞典アリ且權大教正ニ昇級セラル所屬教導職モ
 教長ノ功勞ヲ慰シ昇級ヲ祝セザルヘカヲザルヲ以テ併セテ宴會ヲ發
 起シ報道セシ處幸ニ諸君ノ賛成ヲ得京阪兩所ニ於テ盛大ナル宴會ヲ
 開キ猶諸君ヨリ祝儀ノ幣物ヲ寄セラレタレハ發起人ハ諸君ノ代表者
 トナリテ之ヲ教長ニ進呈セリ依テ之ヲ報告シ謹テ諸君ノ厚意ヲ謝ス

宴會發起人

- 祝儀幣物人名左ニ
- 一金貳圓五拾錢 山野治郎松君
 - 一金貳圓 丹上のふ君
 - 一金壹圓五拾錢 藤田祐藏君
 - 一金壹圓五拾錢 深田平三郎君
 - 一金壹圓 大山上久雄君
 - 一金壹圓 三上俊一君

- 一金壹圓 村山彌比路君
- 一金五拾錢 殿村比路務君
- 一金五拾錢 安立土廣君
- 一金五拾錢 澤田吉松君
- 一金五拾錢 杉原勇喜君
- 一金五拾錢 小笠原安万侶君
- 一金五拾錢 八橋幾三郎君
- 一金五拾錢 伊川道太郎君
- 一金五拾錢 梶原速君
- 一金五拾錢 村尾友七君
- 一金五拾錢 堀内慶次郎君
- 一金五拾錢 白井憲雄君
- 一金五拾錢 森田樟三郎君
- 一金三拾錢 林佐平君
- 一金三拾錢 井上喜平君
- 一金三拾錢 丸尾勇造君

- 丸尾勇造君
- 井上喜平君
- 林佐平君
- 森田樟三郎君
- 白井憲雄君
- 堀内慶次郎君
- 村尾友七君
- 梶原速君
- 伊川道太郎君
- 八橋幾三郎君
- 小笠原安万侶君
- 杉原勇喜君
- 澤田吉松君
- 安立土廣君
- 殿村比路務君
- 村山彌比路君

一金三十拾錢	八木乙と君
一金貳拾錢	平井もと君
一金貳拾錢	中野安吉君
一金貳拾錢	上田信蹟君
一金拾五錢	山西宗十郎君
一金拾錢	木南幸助君
上等鯉節壹連	三宅憲美君
一鷄卵壹百個	酒井庄七君

右之通ニ候他ニ祝詞并ニ歌詩ヲ送呈セラレタル向ハ忝ク保存致候此報告書取調濟印刷ニ附シテヨリ繼續幣物呈進ノ諸君少カラズ此ハ追テ書面ヲ以テ答禮可申上候也

號外建議案決議

御曆ハ皇朝ノ正朔ニシテ信仰ノ如何ニ關セズ國民ノ遵守スベキモノナリ然ルニ明治十六年十月廿七日附内務省ハ神宮司廳へ左ノ通ニ達シラレタリ

曆製造ノ義本年ヨリ以後年々其廳ニ於テ製造シ其製造費并ニ手数料ヲ收入シ神宮敎院ニ下附シ大麻ト共ニ頒布セシムヘシ此旨相達候事トアリテ爾來神宮敎會ヨリ御曆頒布セシム

右ハ憲法二十八條内信敎自由ノ一敎會ヨリ頒布セシムルモノニテ大ニ其當ヲ失シタルモノト云ハザルベカラズ且明治廿一年三月内務省乙第三號達ニ神宮大麻頒布ノ義ニ付明治五年六月元敎部省ヨリ相達

置候趣モ候處自今地方官ノ關係ニ不及候條其受否ハ專ラ人民ノ自由ニ任セ候義ト心得ヘシ此旨相達候トアリ既ニ大麻ニ於テサヘモ拜受ハ信仰ノ自由ニ任ストアルニアラズヤ國民ニ於テ皇大神宮ヲ敬拜セ

ザルモノハアヲザルベシ然レモ神宮敎ハ皇大神宮トハ異別ノ物ナレモ信否ハ各自ノ自由ナリ是ヲ以テ該敎會ヲ信セザル輩ハ隨テ御曆モ受ケザルハ自然ノ勢ナリ然ル則ハ御曆ニ記載スル天長節紀元節元

始祭歷代天皇祭官幣社御祭日ヲ妄念シニレヲ奉セザルニ至リ敬神ノ御趣意ニ違背セシムルモノ御曆授與者ヨリ釀スモノト云ヘシ依テ明治十六年十月廿七日附内務省達ヲ廢シ更ニ政府ハ頒曆條例ヲ設ケ其條例範圍内ニ於テ自由ニ頒布セシメテ以テ國家ノ正朔ヲ遵奉シ敬神ノ御趣意ヲ貫徹セシムル様一地方限リ同志聯合シ其筋へ請願スヘシ右請願書ヲ其筋へ呈シ其住所姓名等明細シ傳達所へ來ル三月廿五日迄ニ報知スヘシ

明治二十七年一月廿四日印刷
全 年一月廿八日出版

京都市高倉通御池上ル柵町十四番戶
奈良縣士族

筆記者兼 發行 者 白 井 憲 雄

京都市高倉通御池上ル柵町十四番戶
兵庫縣平民

印刷者 矢 持 大 藏